

第 189 回ユネスコサロン

第 189 回ユネスコサロンは、駐広島大韓民国総領事、姜鎬曾様を講師にお迎えして、「総領事の視点から見た韓国と日本の関係―広島を中心に―」という演題で開催されました。

姜総領事は淀みない日本語で、国内 9 カ所にある領事館の歴史・仕事・活動内容・歴史・行事などを作成された豊かな資料をベースに分かり易くお話をされました。広島大韓民国総領事館は 1997 年に開設され、在外国民保護と支援、旅券の発給や各種証明書の発行、そして文化交流イベントの開催などを行っていることを紹介されました。

中でも、毎年 8 月 6 日の韓国人原爆犠牲者慰霊碑の慰霊祭、コンサートの開催、そしてフラワーフェスティバルでの朝鮮通信使再現行列に参加して日韓友好を推進してこられたと伺った時は大変嬉しく、韓国に対する親しみがより一層増しました。

日韓の新しい知識を得て、両国のこれからの交流を方向付ける指針となるご講演でした。参加者は熱心に聞き入り質問もあり、有意義な時間でした。

文化部部会長 高田幸子

